

# 筆美人

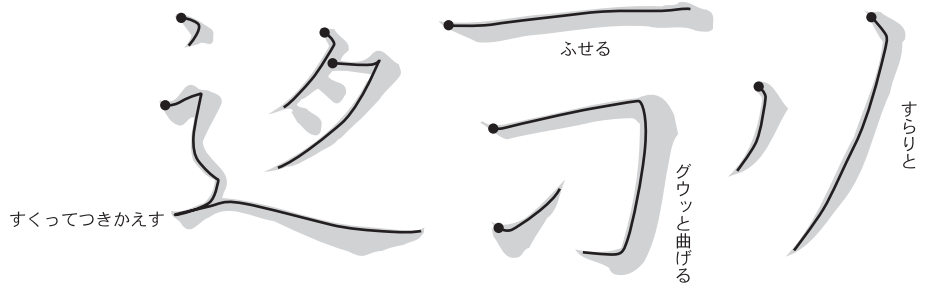
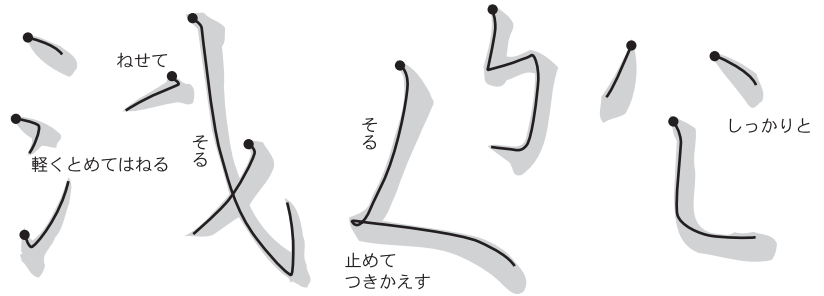
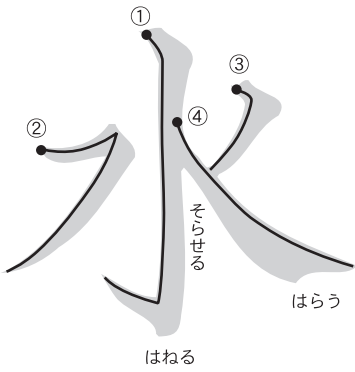
## STEP.1 / 楷書練習帳 [小筆用]

いろはにほへとちりぬるおわかよたれそつねなら  
まけふこえてあさきゆめみしえひもせすんいろは  
るおわかよたれそつねならむういのおうやまけ  
めみしえひもせすんいろはにほへとちりぬるお  
ならむういのおうやまけふこえてあさきゆめみし  
ろはにほへとちりぬるおわかよたれそつねなら  
けふこえてあさきゆめみしえひもせすんいろは  
おわかよたれそつねならむういのおうやまけ  
みしえひもせすんいろはにほへとちりぬるお  
らむういのおうやまけふこえてあさきゆめみし  
はにほへとちりぬるおわかよたれそつねなら  
ふこえてあさきゆめみしえひもせすんいろは  
わかよたれそつねならむういのおうやまけ  
しえひもせすんいろはにほへとちりぬるお  
むういのおうやまけふこえてあさきゆめみし  
にほへとちりぬるおわかよたれそつねならむ  
こえてあさきゆめみしえひもせすんいろはに  
かよたれそつねならむういのおうやまけふこ  
えあさきゆめみし



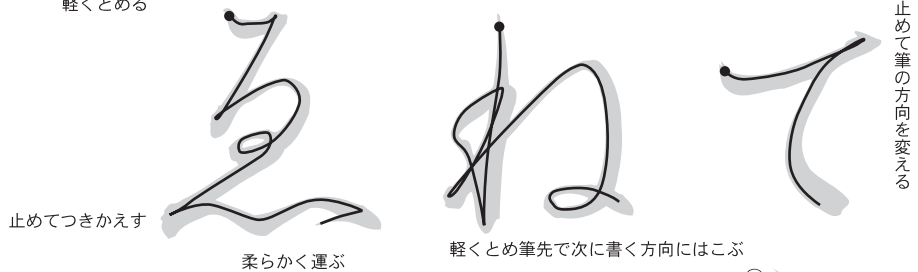
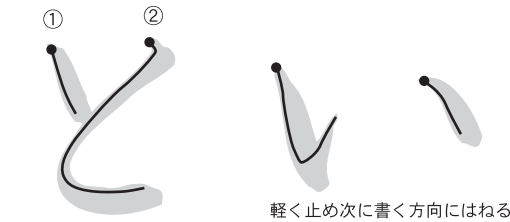
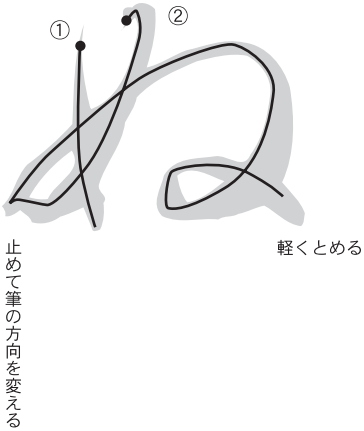
【実用新案申請中】

## ■ 筆の運び方



【はじめに】 筆で文字を書くことは、難しく堅苦しいと思われる方にお薦めの練習帳です。筆文字は筆先の入り方と次に進む流れを捨得すれば、誰にでも気軽にかけるようになります。後は文字のバランスをつかみ一字一字の大きさや形が違っていても全体的にバランスがとれていればそれで良いのです。まずまねて感覚を覚えることから始めましょう。

【筆について】 はじめのうちは、固めの筆で腰の強いものが楽です。羊の毛で柔らかい筆は味わいがありますが、慣れるまでは、馬毛のまじった筆がお薦めです。筆ペンをご使用になる方は、できるだけ毛筆に近い感覚のものが良いでしょう。



- 始点
- 筆先の位置
- ①②③ その箇所の書き順

小目己只木左如秋今手谷  
川不天々尽走色空思幼糸  
下士女不及実吹近買笑宮  
上王日月勿本里衣春吳立  
十山白正言生曲老管向北  
三千中父史水町更依花品  
一人入文至冬用長喜知勾

新寒書習溫  
基教雁義將飲  
岸郊紅雲我  
葉惟路還道層  
弥前青雪君初  
滿破錦暮湖  
彼雨母美流晚  
紛綠踐踏樂  
肌林黃莫海師  
間斜遊無愁  
有往河來欲  
梅庭越樓建誰  
赤食草風春  
夏家歸筆涯落

樹	働	曛	識	窮	飛	鳩
歳	睦	範	暖	盛	殿	鷓
い	ろ	は	に	ほ	へ	と
ち	り	ぬ	る	を	わ	か
よ	た	れ	そ	つ	ね	な
ら	た	う	る	の	お	く
や	む	け	そ	こ	え	て
あ	ま	き	る	め	み	し
互	さ	も	ふ	す	ん	
	さ		ゆ			
	ひ		せ			

■ 文字練習

● 始点

— 筆先の位置

①②③ その箇所の書き順

一	三 そる ふせる	十 長く 短く	上	下	川 高く	小 しっかり 短く
人	千	山 高く とめてつきかえす	王	士	不	目
入	中 まじすへ	白	日	女	天	己
文 中心	父 すらりと のびやかに	正	月	不	々	只
只 止めて軽く つきかえす 短くはねる しっかり止める	言	至	勿 グウツと曲げる	史	及	尽
冬	水	生	本	実	走	木
用 そる	町	曲 高く	史	走	走	左 大きくはらう
冬	水	生	本	吹	色	如
用	町	曲	里	近	空 上大きく	秋
長	更	老	衣 大きく	買	思 ①②③④	今
喜	依	管	春	笑	近 ①②③④ あげる	
知	花 ①②③④	向 向きあつちうて	吳	宮	近 すくって つきかえす	
勾	品	北	幼 右を上げて書く	手 ねかせて 出す	糸 すくって つきかえす	谷

立 <small>そる ふせる</small>	赤 <small>そる ふせる</small>	有	肌	彼	弥	岸
新	食	往	林 <small>はねる とめる</small>	雨	前	郊
寒	草	河	黄	春 <small>① ② ③ ④ ⑤ そる 平らに ふせる すうじへ のびやかに</small>	母	母
書	風 <small>②</small>	来 <small>長く</small>	莫		美	美
糸 <small>すくって つき返す</small>	青	紅 <small>そる ふせる</small>	習 <small>① ② ③</small>	春	欲	欲
	雪 <small>大きく</small>	雲	温	夏	梅	梅
海	我	君	家 <small>① ② ③ ④ ⑤</small>	庭	間	晚
師	流	基	帰	義 <small>① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦</small>	越 <small>③ ④ ⑤</small>	越 <small>③ ④ ⑤</small>
初	葉 <small>① ② ③ ④ ⑤</small>	満 <small>違う角度・形に</small>	惟		教	教
斜	紛	破	路	雁	無 <small>① ② ③ ④ ⑤</small>	踐
遊	緑	義	筆 <small>筆先は左</small>	楼	愁 <small>① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧</small>	踏
錦	還	将	涯	建 <small>力強く</small>	樹	樂

		暮	道	飲	落	誰
		働	湖	層	<p>違う角度・形に</p>	
窮	飛	鳩	歳	睦	範	暖
盛	殿	鷓	曛	識	範	暖
い <small>大きへ</small>	ろ <small>大きへ</small>	は <small>すのりと</small>	に <small>はなす</small>	ほ <small>軽く止める</small>	へ <small>長く</small>	と <small>遠く</small>
ち <small>右上がり</small>	り <small>あまり曲げずに</small>	ぬ <small>右大きく</small>	る <small>しっかり結ぶ</small>	を <small>小さく</small>	わ <small>大きく</small>	か <small>はなす</small>
よ <small>うける</small>	た <small>右上がり</small>	れ <small>早く</small>			そ <small>つき返す</small>	つ <small>たっぷりと</small>
ね	な	ら <small>手</small>	<p>すらーと抜く</p>		む <small>とぼして</small>	う <small>点そらせて</small>
る	の	お <small>はなす</small>	く	や	ま <small>大きく</small>	け <small>高く</small>
ふ			こ	え <small>はなす</small>	て <small>つき返す</small>	あ <small>右上がり</small>
き <small>そらせる</small>			ま	ゆ	め	み
し	互	ひ <small>手</small>	も <small>手</small>	せ <small>高く</small>	す <small>長く</small>	ん